

生駒市ごみ減量市民会議(H30年度第2回) 会議録(要旨)

1. 開催日時 平成30年7月9日(月) 午後1時30分～午後3時35分

2. 場 所 市役所4階403・404会議室

3. 会議次第

新メンバー紹介

報告事項

- (1) いこま寿大学実務講習会について
- (2) 壱分東自治会懇談会について
- (3) 環境フェスティバルについて
- (4) ごみ組成調査結果について
- (5) ごみ減量市民会議チラシの作成について

協議事項

(1) 懇談会開催について

(2) 一日環境教室

4. 出席者(敬称略)

【参加者】坂本 剛伸、藤澤 清二、永野 洋子、山田 龍三、藤尾 庸子、清水 綾、  
奥田 高弘、小山 忠昭、下山 一則、田中 勝久、山口 昭夫、藤中 章夫、  
寺井 孝幸、山村 浩之

【事務局】奥田(市民部長)、竹本(環境保全課長)、木戸(環境保全課課長補佐)、  
大窪(環境モデル都市推進課課長補佐)、西井(環境保全課事業係長)

5. 欠席者(敬称略) 藤堂 宏子

6. 傍聴者 0名

7. 会議内容(要旨)

新メンバー紹介

※事務局より新メンバーの紹介

案件

報告事項(1)

●いこま寿大学実務講習会について

事務局 <資料①いこま寿大学実務講習会記録(要旨)説明>

座 長 何か事務局の説明に質問等ございませんか。

参加者 ご意見の3つ目で老人施設を作るとかのマスタープランを作ってほしいという  
ところの意味がわからない。どういうことですか。

事務局 流れの中で有料化の話があって、有料化のお金の使い道として老人施設をつく  
るとかということも考えていただきたいというご意見を言っておられました。有  
料化で負担ばかりが表に出ていて、もう少しメリットを感じられるような方向

にできないかというようなことでした。

座長 いこま寿大学の実務講習会を今後どうしていくかということですが、参加者が11名と少なかったですが、ごみのことに関心をもっていた方が11名も参加していただいたという見方もできますが、今後の検討課題であると考えています。他の人気のある講座もありますので、そういう講座とジョイントして実施するということも考えられると思います。また、今回の講座の受講生の中から私の自治会でも懇談会をしてほしいという意見が出て、鹿ノ台での懇談会を実施することに繋がったということもございます。そういうメリットも考えて今後検討していきたいと思います。

事務局 他の人気のある講座とのジョイントが可能かということや実施回数等も担当の生涯学習課と相談させていただいて検討していきたいと思います。

#### 報告事項(2)

##### ●壱分東自治会懇談会について

事務局 <資料②壱分東自治会懇談会実施結果説明>

座長 何か事務局の説明に質問等ございませんか。

中国語版のごみ収集日程表を作ってほしいという要望があったということですが、どういう内容ですか。

事務局 お隣に中国人の方が引っ越してこられて、トラブルを防ぐ為にも中国語版があれば良いという要望でした。

座長 他にもこのような要望はあるのですか。

事務局 英語版は作っていますが、他の言語でも作ってほしいという要望はあります。

参加者 松阪市では中国・韓国等の5か国語ぐらいの冊子を作っている。また松阪市に行くことになっているので、良ければ次回参考に持って来ます。

事務局 生駒市では、窓口表記は、日本語・英語・韓国語でしており、パンフレットについては4か国語を推奨している。翻訳については、各担当課の判断でということになっている。生駒市には先端大学があって外国の方の多いのでその地区ではある程度の表記についての配慮もされている。今ある分の翻訳版は作っておくべきでないかとは考えている。

座長 市のホームページは外国語の表記はされていないのですか。

事務局 ホームページの右上に言語の選択はあるが、綺麗な翻訳にはなっていない。受けてほしい情報を翻訳できていないのが現状です。

参加者 先端大学では言葉が伝わらないので、先端大学がオリジナルでその国の言語で市の日程表に代わる物を作っていると聞いている。

参加者 国際的な冊子を作る場合、その前提として、外国人の方とは文化的な違いがあり、日本は打ち水文化で家の前も綺麗にして環境を大事にしているという文化的な違いを認識していただけるような紹介をしていただいたらすんなり受け入れていただける部分のあるのではないかと思います。

#### 報告事項(3)

##### ●環境フェスティバルについて

- 事務局 <資料③環境フェスティバル実施結果説明>  
座 長 何か事務局の説明に質問等ございませんか。  
参加者 たけまるホール調理室前で毎週木曜日フードドライブを実施していますが、当初思っていた以上に食材が集まり、住民の皆様に協力に感謝しています。たけまるホールだけでなく他の地域でも広げていけたらと思っています。持って来ていただいた人とも会話が弾む楽しい活動をさせていただいています。当初8月末までに試験的にやろうと思っていたが、反響が大きいので今年度末まで継続させていただこうと思っています。今年度末までは健康づくり推進協議会の責任で実施させていただいて、来年度は新しい形で出発していただくのも有かなと思います。今年度は、3月まで試験的にさせていただくということでよろしいでしょうか。毎週木曜日9時から12時までやっていますので、皆様には何時誰がというのではなく寄っていただいて「ひまわり」で料理も作っていますので、終わりに食事でもしていただいて交流の場にさせていただければと思っていますのでよろしくお願いします。
- 《異議無し》
- 参加者 環境フェスティバルでフードドライブをイベントとしてされたと聞いていますが、どのくらい集まったのですか。
- 参加者 環境フェスティバルのフードドライブは、ECO-net 生駒で実施しましたが、3月の地域デビューガイダンスの時と比べて提供者で53%程度減っています。重量は79kg、点数は426点と大口持ち込みがなかったので大きく下回りました。次回は9月を計画しており、イベントごとの実施を考えています。
- 参加者 住民としては、手軽に歩いて持って行ける場所があればと考えておられるようです。毎日は無理ですが、仲間の一人として協力できればと考えています。
- 座 長 環境フェスティバルの参加者へのアンケート調査でもフードドライブを知っている方は47%でした。始まったばかりでまだまだ認知されていないのが現状だと思います。3か月近くやって感じたことは、持って行きたいときに持って行ける場所がほしい。また、子どもを連れた若い人が多い。相対的に私たちのようなシニア層は限りなく少ない。もらい物が少なくなって捨てるものが少ない。賞味期限が切れても使う人が多いので、あえて寄付で持って行く人が少ない。逆に若い人は、こんなのを貰っていいんですかと言ってしまうような物を持ってきてくれる。また、場所はここだけなのですかと聞かれることも多い。先日、鹿ノ台から持って来てくれた人も「北地区ではやってくれないんですか。」と言われていました。これからやってみて、改善させていく点や浸透させていく課題が出てくると思うんですが、壺分東自治会でフードドライブを知っている人は、3割でしたが、一般では2～3割程度の認知度と思います。
- キエーロの件ですが、環境フェスティバルで現物を持っていかずに、完全予約制でしたが、最低10台は持っていくようにしても無駄にはならないかと思いましたが。キエーロを見て「これは何ですか。」と向こうから聞いてくれる人が多かったのもので、こういう機会を逃がさないようにしていきましょう。

参加者 子ども会で企業からお菓子を寄付で貰っている。企業にもメリットがあるので、企業にも参加していただける方法があれば良いと思います。

参加者 生協さんは協力してくれているが、企業との接点がありません。

参加者 スーパーさんとの懇談会を毎年しており、食品ロスのお話をしているが、スーパーさんでは「生鮮食品や加工食材は別だがフードドライブに出すような商品は基本的には出ません。」と言われる。常に捨てるような商品を出さないように努力されている。

参加者 スーパーからフードドライブに出すような商品はまず出ないと思います。私が大阪のボランティアでやっているところも、メーカーや問屋からの寄付が多い。

座 長 フードドライブに当初予定していたより多く持って来ていただいているが、一度お礼も兼ねて状況報告が必要ではないでしょうか。

事務局 それはさせていただきます。

参加者 「フードドライブ」という言葉はわかり難い。生駒版のわかりやすい名称も必要ではないか。

#### 報告事項(4)

##### ●ごみ組成調査について

事務局 <資料④生駒市ごみ組成調査報告書説明>

座 長 事務局の説明に質問等ございませんか。

参加者 料理教室をしていると一回の教室ですごくプラごみが出ます。昔は少なかったプラが多くなったように思います。袋の中にまた袋があって商品が守られて包装が増えています。企業は、ごみが出るということよりも、いかに安全に家庭に届けられるかを大事にしている。分別だけで減らそうということは無理があるので、そういうことも研究していく必要があると思います。

参加者 確認していませんが、賞味期限を延ばすために過剰包装になっていることもあると思います。

参加者 懇談会等で、プラごみの現物を持って行って、実践的にやることは効果があると思います。目で本物を見てもらうやり方を今年度は力を入れていく必要があると思いました。また、衛生社さんが小学校で子どものごみ収集体験学習をしていると聞いた。若いお母さんが、パッカー車を持ち込んでもらって感激しておられた。私達には情報として入って無いので知らなかったが、子どもに分別を覚えてもらって、お母さんに伝えてもらうことも大事だと思いました。

参加者 子どもが幼稚園や小学校でごみの分別を学んできて、子どもが見ているのでしっかり分別するようになったということもあります。

参加者 小学校でのごみ収集体験学習の現場へ私達も一度行かせていただきたいと思います。生駒市の子どもたちが楽しんでいる表情を見るだけでも楽しいと思います。私達の団体も子どもをターゲットに学童さん(70名)に魚料理をしており、夏休み中4回するが、そのうちの2回でもごみ減量市民会議の活動の場になれば

- ばと考えています。後程、その他で詳細の説明をさせていただきます。
- 座 長 次に報告書2ページにごみ袋の大きさ別に見かけ比重が載っているが、大きい袋(30ℓ・45ℓ)が見かけ比重が低いが、まだまだごみを入れる余裕があると思っ  
ていいのですか。
- 事務局 そうです。
- 座 長 大きい袋(30ℓ・45ℓ)に隙間があれば、どうせ空いているならそこに入れようと  
心理が働きます。壱分東自治会でも「45ℓの袋を使っているので分別する必要が  
ない。」という人がいました。今回の組成調査で、プラが若干増えて、手つかず  
食品も6%から9%に増えています。はじめは分別しようとしていた方々が、45  
ℓの袋を使えば分別しなくても済むのではないかというふうになって来たのが  
去年かなということが立証されたのが、この組成調査かなというふうに感しま  
した。今年度4月のごみ排出量も去年と同じでしたので、今年度も去年と同じ  
ような結果になるのかなと感じました。
- それと6ページのきちんと折った新聞紙が旧住宅地に多いのは、集団資源回収  
の実態がどうなのかということや、集団資源回収をされていない場合は、分別  
して燃えるごみの日に出してくださいというお願いに繋がっていくのかなと思  
いました。プラスチック製容器包装は、先ほどの過剰包装ということもあります  
が、我々の活動としてはどうしようもできないということもありますが、分  
別の啓発が必要で、衛生社さんの冊子と現物を見てもらっての懇談会での話が  
一番効果的であると思います。各自治会長さんに生駒市から文書も出していま  
すが、これを進めていきたいと考えています。生ごみは、キエーロを中心とし  
た啓発をしていく。食品ロスに関しましては、エコクッキングやフードドライ  
ブを中心としてやっていく。また、今年の事業計画で駅立ちの啓発活動(チラ  
シ配り)を予定していましたが、具体的な計画を事務局でお願いしたいです。
- 事務局 チラシを配るというだけでは、受け取ってもらえないので、今後検討したいと  
思います。
- 座 長 今回の組成調査で容積では30数%減っている。組成調査をした地区では重量で  
9%しか減っていないのに容積では33%近く減っている。減量目標は重量でし  
ているのでそれは仕方がないが、ごみが減っていないと追及されているが、市民  
の方々に努力して貰って容積で30数%減っているのを何かで使えないか  
と思っています。また、燃えるごみだけでなくごみの総量で7.5%減っているこ  
とを伝える必要があると今回の組成調査で感じました。
- 参加者 ごみが減ったことに対して市民に感謝の意を表す必要がある。収集事業者さん  
の感覚で、実際にごみ集積所でごみは減っていますか。
- 参加者 燃えるごみの集積所では、半分ぐらいになったと思います。
- 参加者 有料化後は変わっていない。有料化前との比較をしても今更仕方がない。
- 参加者 有料化前から分別は進んでいた。ごみの総量が減ったということは知らなかつ  
たが、総量が減るのは、買い控えや節約もあると思いますが、総量が減るとい  
うことは人数が減る以外なかなか考えられない。

- 座 長 斑鳩に研修に行ったときも総量が減っているが、理由はわからないということでした。
- 事務局 有料化に伴って買い控え等の減量行動があるらしく全国的にも総量が減っている。
- 参加者 市が有料化によって、ごみが減ったというのは間違いだ。より一層意識が高まってごみが減ったのは事実だか有料化前からごみは減ってきていた。
- 事務局 有料化で意識が変わって、それによってごみが減ったと考えています。
- 参加者 意識を変えるのが一つの目的だったので、それはそれで良かった。
- 参加者 有料化だけではないということだと思うが、有料化によってごみが減っていないというのは、間違いだと思う。
- 座 長 ごみ半減プランでは7つの施策を使ってごみを半減させようというものでした。最後まで残っていたのが、有料化だった。有料化で行ったシミュレーションでも1年目は大幅に減るが2年目以降は横ばいだった。毎年20%ずつ減っていくというのはどんな方法をとっても難しい。生駒市は有料化してもすぐにリバウンドすると言われていたがリバウンドが抑えられているのが現状と考えています。
- 参加者 本気で25%・50%減らすには他の仕組みを考えなければならない。啓発だけではとてもじゃないが下がらない。
- 参加者 世界全体でプラごみをどうするかが問題になっている。集めたところで最後どうするかは難しい問題です。

#### 報告事項(5)

##### ●ごみ減量市民会議チラシの作成について

- 事務局 <資料⑤ごみ減量市民会議チラシ説明>
- 座 長 事務局の説明に質問等ございませんか。
- 参加者 今まで自治会との懇談会は何回ありましたか。5回くらいですかね。一番喜んで貰えるのが、プラの分別で、どこの自治会でもそうです。市から積極的に働きかけていかなければダメです。
- 座 長 そうなんです。先ほどお願いしたのも、まずこのメンバーから手をあげてお願いしますということなんです。行政にお願いするだけではなくて、まずこの減量会議のメンバーから自分の自治会にお願いしてもらって、また、プラスして行政からも積極的にお願いしますということなんです。
- 座 長 作成いただいた広報分科会の方説明をお願いします。
- 参加者 広報分科会でも今の話がありましたので、地区懇談会の開催について、このチラシの裏面真ん中に赤字で「ごみ減量市民会議では、自治会とのごみ減量に向けた懇談会を実施しています。あなたのお住まい自治会でもごみ減量市民会議との懇談会を開催しませんか。」と入れさせていただいています。
- 座 長 皆さんの思いは一緒にどんどんやりましょうということをお願いします。
- 参加者 ひかりが丘の懇談会で、コーヒーでも飲みながら懇談ということが良かったので、壱分東自治会でもまねをさせて貰って実施しました。何かを飲みながらつ

まみながらということをやったら、意見がいっぱいでて、「止めたくない。もう終わりなんですか。」という意見が出て、何か飲んだり、食べたりしながらするのは、意見が出てよいのかなと思いました。

参加者 実際のものを見せてする説明が皆さんに受けていた。  
座 長 皆さんチラシはこれでよろしいでしょうか。これで次の鹿ノ台から使っていきます。

#### 協議事項(1)

##### ●懇談会開催について

事務局 <次第により鹿ノ台自治連合会資源物個別回収委員会・谷田町自治会懇談会開催について説明>

座 長 事務局の説明に質問等ございませんか。

《参加者からの質問等なし》

参加いただける方、挙手をお願いします。

《鹿ノ台自治連合会資源物個別回収委員会・谷田町自治会懇談会参加者確認》

事務局 人数調整のうえ、出席者には詳細の連絡させていただきます。

#### 協議事項(2)

##### ●1日環境教室について

事務局 <1日環境教室チラシにより説明>

※市民会議メンバーも良ければ参加してほしい旨説明した。

座 長 事務局の説明に質問等ございませんか。

参加者 どのくらい申込が入っているのですか。

事務局 現在募集を開始したばかりで、今で3組くらいです。

座 長 募集は、広報紙でされるのですか。

事務局 広報紙への掲載と各小学校へこのチラシを配布しています。

座 長 参加いただける方は、7月中に事務局まで連絡ください。

#### その他

座 長 広報分科会で広報「いこまち」への掲載について検討していただいておりますので報告をお願いします。

参加者 広報分科会を先週開催しまして、チラシの件と広報「いこまち」への掲載について話し合いました。チラシについては、先ほど決めていただきましたので良いんですが、広報「いこまち」の掲載については、今後どうしていこうということで、前にもこの会議で話が出ていましたが、広報「いこまち」に5回に分けて掲載する方法と特集を組んで1回で掲載する案が考えられるんですが、スペース的には、5回に分けた場合は、たぶん1ページの半分ぐらいしか使えないのではないかなと思うんですが、特集の場合は、2ページ以上使えそうなので、どうするかなんですが、仮に5回に分けて掲載する場合には、まず「キエーロについて」「ごみの分別について」「ごみ減量のアイデア」「食品ロスについて」

「自治会懇談会について」を考えています。特集記事を掲載する場合は、1つは、小学生のキエーロ製作講座参加者に製作したキエーロを使って研究結果を報告していただきますのでその内容を記事にして、もう1つは自治会との懇談会を何回か実施していますので、その様子をお知らせしようということ、その2つを掲載しようと考えています。何回かに分けて掲載するのか特集記事で掲載するのか、今日皆さんに決めていただいたらその方向で広報広聴課と調整していきたいと考えています。どの方法が良いかご意見をいただきたいと思ひます。

座長 皆さんどうですか。なかなかイメージがわからないと思うんですが、広報に掲載していこうというのは前々からの皆さんのご要望でしたが、一つは連載ものともう一つは特集で数ページを使ったものがあるんですが、前に事務局から広報「いこまち」は人気があって中々掲載は難しいということでしたが、事前に実現性・現実性・方向性について広報広聴課に聞いていただいたということで事務局から報告をお願いします。

事務局 座長代行と私どもで広報課と打ち合わせをさせていただいております。まず、広報課の意見としては、「ごみの減量については、掲載を拒否しているのではない。出来るだけ掲載はしたい。」というように言っております。まとめる書類といたしましては、「1つ目は、まず標題をどうするのか。2つ目になぜその話題を広報する必要があるのかの理由が必要である。特集を組む時は特に理由が重要になってくる。3つ目は提供出来るコンテンツの内容を出来るだけたくさん具体的に箇条書きでも構わないので記載すること。4つ目に注意点といたしましては、以前広報した内容と重ならないこと。ただし同一のテーマでも切り口が変われば構わない。提出した書類を広報課で精査して、掲載の可否、どの程度のスペースで掲載するのかを決定する。」ということでした。それと今回の打ち合わせで言ってもらっているのですが、ごみに関するQ&Aとかごみ減量のアイデアとかで市民に役立つ内容が12個揃うのであれば、次年度1年間コーナーを設けることも可能であるとも言ってもらっています。また、ごみの組成調査の結果から手つかず食品が増えているので食品ロスについて市民に訴える必要がある点や自治会懇談会の活動についても広報の担当者が興味を持ってくれました。以上です。

座長 広報分科会と事務局の報告で皆さんのご意見をいただきたいと思ひます。連載については、来年度からと条件を付けられたようですが、1年間掲載可能、特集についても条件が揃えば掲載は可能ということですか。

事務局 そうです。

座長 広報分科会からの提案についても条件が揃えば、実現性があると考えてよろしいですか。

事務局 そうです。

座長 今までは広報に載せてもらえないという感じでしたが、壁が一つ壊れたと思うんですが、先ほど広報分科会から連載か特集のどちらかに決めてほしいという

ことでしたが、どちらも狙ってもいいのかなと思うんですが、市民にいろんな情報を発信できるのではないかと、特集だと年1回で見逃してしまう。連載だとまた何か載っていると、その話題で近所同士で話が出来ると思うんですが、連載が4月からと言われるとチョットと思うんですが、中身次第という感じですね。

事務局 連載については、今までダメだと言われていたのが、次年度1年間載せてもらえるのであれば、今からすぐは難しいと思います。

参加者 単発で試運転しておいて来年から本格的にお願いするのはどうですか。

参加者 1年間連載するというのは、なかなか大変ですよ。

座長 広報課は中身を知りたいようですね。

事務局 毎月というのではなくて偶数月とか随時掲載依頼することも可能です。

参加者 こちらから依頼したわけではないが、フードドライブも結構スペースを取って特集を載せてもらえた。

事務局 その時の発信性とかタイムリーな話とかタイミングいうのも大事です。

座長 連載をベースに広報分科会で考えていただくということでお願いしたいと思います。

先ほど話があった学童保育の料理教室の件ですが、日程はどうなっていますか。

参加者 8月の3日・10日・24日・28日のうちで2回を考えています。市役所の都合でお願いしたいと思います。事務局で決めていただきたいと思います。

3日はたけまるホール、10日・24日・28日は北コミ、時間は9時30分頃から13時頃までになります。学童保育の生徒が70人ほど来てくれますので、子どもを対象としてエコクッキング教室をしたいと思います。

事務局 日程が決まりましたら、メンバーの皆様に連絡させていただきます。

座長 最後にくどいお願いになりますが、自治会別懇談会にご協力お願いします。開催が決まりましたら随時事務局から連絡いただきますのでよろしくお願い致します。

長時間に渡り貴重なご意見ありがとうございました。

本日はこれで終了します。